

金城学院大学 シラバス

開講年度(Year)	2021年度	開講科目コード(Course code)	37240007
授業科目名(Course name)	ピアノ奏法（6）		
担当者(Instructors)	兼重 直文		
開設学部学科(Department)	文学部 音楽芸術学科	科目分類番号(Course classification number)	263
開講クラス(Class)	音3ピ	開講形態 (Course format)	実技
科目区分(Course classification)	専門教育科目 専門教育科目	単位数(Credits)	2
開講期・曜日・時限(Semester / Day of the week / Period)	後期 火曜2限	担当形態 (Instructor format)	単独
実験実習費 (円) (Experiment/training fee (yen))	5,000	履修者数上限 (名) (Maximum number of students)	
他学部他学科生履修不可(No other undergraduate departments students can study)			

■授業の概要(Course outline)
一人45分の個人指導で行う。ピアノ奏法（6）では、近代フランス、スペイン、ロシア、東欧等の作曲家の作品を通してより幅広い表現を探究する。

■到達目標(Course goals)
印象派の楽曲を演奏する上での音色、表現力を修得している。

■履修上の留意点(Important points)

■学位授与方針 (Diploma policy)
1. 知識・理解
音楽芸術に関する専門的知識と演奏技能を身につけるとともに、豊かな人間性を支える教養と深い専門的知識を身につけている。◎
2. 汎用的技能
日本語や英語で多様な人々とコミュニケーションを行うとともに、音楽演奏を通じて様々な楽想を適切に表現し伝えることができる。○
音楽芸術の実技と理論を通じて身につけた感性と思考力を用いて、物事を的確に分析し考察することができる。◎

■授業計画(Lesson plan)
1. オリエンテーション・各々のレベルにあった楽曲を選曲する。
2. エチュード1 テクニックの習得
3. エチュード2 テクニックの仕上げ
4. エチュード3 楽曲の仕上げ
5. 近代のピアノ曲1 楽曲の分析
6. 近代のピアノ曲2 近代の作品における表現とは何かを学ぶ
7. 近代のピアノ曲3 テクニック
8. 近代のピアノ曲4 ペダリングについて
9. 近代のピアノ曲5 楽曲の仕上げ

10. 試験曲のアナリゼ
11. 試験曲の時代の様式を知る
12. 試験曲のテクニック（ペダリング・運指）等を学ぶ
13. 試験曲の表現（拍子感・アゴーギク）を深める
14. 試験曲の仕上げ
15. 実技試験と講評

■授業時間外学修（予習・復習）の内容・時間(Preparation/review details and time)
リリ－ホールにて実技指導やリハーサルを実施。必要に応じて各種コンクールの準備として実技指導を行う

■課題／課題に対するフィードバックの方法(Assignments/feedback)
授業で指導を受けたことを次の授業までにマスターしておくこと。

■テキスト・参考書(Textbooks/references)
各々のレベルに合った曲の楽譜を用いる

■評価方法(Evaluation method)
実技試験 50%
平常点 50%

■授業時間外の学生からの質問への対応(Responding to questions from students outside class hours)
Kメールにて回答